

令和3年4月8日

発 言 者	発 言 要 旨
<p>松田委員</p> <p>子ども家庭支援課長</p>	<p>低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金の制度概要はどうか。また、今回の補正予算では、何世帯分を見込んでいるのか。</p> <p>厚生労働省から示されている制度の概略及び趣旨としては、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し生活の支援を行う観点から、給付金を支給することとされたものである。</p> <p>対象者は、三つの類型があり、令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けているもの、公的年金等を受給していることにより3年4月分の児童扶養手当の支給を受けていないもの、3年4月分の児童扶養手当を受給していないが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、家計が急変し、収入が児童扶養手当を支給しているものと同じ水準となっているものである。</p> <p>給付額は、児童1人当たり一律5万円とし、事業の実施主体は、県が県内の町村居住者を対象とし、市がそれぞれの市居住者を対象として支給する。</p> <p>想定スケジュールは3年4月分の児童扶養手当の支給を受けているものは、可能な限り5月までに給付するとし、児童扶養手当受給者は申請が不要であり、自動的に給付する仕組みになっている。</p> <p>また、対象の世帯数は概算で町村分1,400世帯、市分と合わせて全体で7,500世帯を見込んでいる。</p>
<p>松田委員</p> <p>子ども家庭支援課長</p>	<p>寒河江学園の入所児童等は対象となるのか。</p> <p>今回の給付金はひとり親家庭で在宅の児童等が対象のため、給付されない。</p>
<p>松田委員</p>	<p>新型コロナの陽性者のうち自宅や宿泊施設療養待機者がいるが、施設入所の判断基準はどうか。</p>
<p>参事(兼)新型コロナワクチン接種総合企画課長</p>	<p>陽性が判明した場合、新型コロナ重点医療機関の専門医師が診察を行い、入院を要するのか、自宅療養や宿泊施設療養で問題ないかという判断を行う。</p> <p>入院を要しない場合は、自宅、宿泊施設療養となるが、家族に感染させる恐れがある場合等は宿泊施設療養を勧めている。ただし、宿泊施設療養は陽性者の同意が必要である。</p> <p>また、自宅療養者については、保健所で1日数回程度健康観察を行っており、その際にパルスオキシメーターを用いて、血中の酸素濃度も確認している。自宅療養の解除の条件は「発症から10日間経過し、かつ発症がない状態で3日間以上経過していること」となっている。</p>
<p>加賀委員</p> <p>参事(兼)新型コロナワクチン接種総合企画課長</p>	<p>陽性者が自宅療養中に家庭内で感染を拡大させている可能性はないのか。</p> <p>新型コロナの特徴として発症2日前からの感染拡大が確認され、感染が確認された段階で保健所が疫学調査を行うが、濃厚接触者として検査した際には家庭内で既に感染が拡大しており、家族も感染していたという事例がほとんどである。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
加賀委員	<p>村山地域の新型コロナ専用病床の利用率が高くなっていることから、河北病院に軽症者をまわすなど病床数を増やすべきと考えるがどうか。</p>
参事(兼)新型コロナワクチン接種総合企画課長	<p>村山地域は三つの医療機関で対応しており、三つのうち一つは、まだそれほど病床利用率は高くないが、残りの病院は入院に伴い病床使用率が高くなっている。医療従事者の疲労等が懸念される状況となっている。</p> <p>以前から他の村山地域の病院について、病床の確保を依頼しているが、回復した患者を受け入れる病院や通常医療を行う病院も必要であることから、後方支援のための病院も含め、現在、病床の積み増しについて協議を行っている。</p>
加賀委員	<p>新型コロナの変異株がどのようなものなのか分かりにくい。詳細な情報の公表をしてほしい。</p>
奥山委員	<p>山形市の徳洲会病院でクラスターが発生するなど、地域住民の方々は新型コロナをより身近に感じているが、濃厚接触者の定義はどうか。また、濃厚接触者となった場合、どの程度遡って行動を調査するのか。</p>
参事(兼)新型コロナワクチン接種総合企画課長	<p>濃厚接触者の定義は国立感染症研究所作成の疫学調査の手引きにおいて規定しており、「マスクなしで1メートル(手を伸ばして触れる範囲)」で「15分以上の会話があった」ことが一つの目安である。</p> <p>しかし、必ずしもそれだけで判断するものではなく、風通しのよさ等の状況に応じて判断していくこととなる。</p> <p>また、感染する可能性と場所を特定するために2週間以内の行動について聞き取りを行う。</p>
奥山委員	<p>濃厚接触者となった場合、直ちにPCR検査を行うのか。</p>
参事(兼)新型コロナワクチン接種総合企画課長	<p>保健所から感染防止対策の説明を行った上で、当日もしくは翌日までに検査を行う。</p> <p>濃厚接触者と保健所で決定した場合には、潜伏期間を考慮し、PCR検査の結果に関わらず、2週間の自宅待機と健康観察を依頼している。</p>
奥山委員	<p>家庭内感染を防ぐため、家庭内でのマスク着用の必要はあるのか。</p>
参事(兼)新型コロナワクチン接種総合企画課長	<p>日常生活においては、現状、そこまでの必要性はないが、今後、感染が拡大すればそのような可能性も出てくる。</p>
関委員	<p>新型コロナの陽性者が自宅等で療養している場合、電話による健康観察を行うが、対面による健康観察を行うべきと考えるがどうか。</p>
参事(兼)新型コロナワクチン接種総合企画課長	<p>健康観察に最も必要なことはスピードである。診察であれば顔等を見合わせながら行うほうがいいと思うが、疫学調査は診察でもなく、体に触れるわけでもない。多くの方に対し、かなり詳しいことを確認しなければならないので、短時間で調査するためには電話で行う調査は良い手段と考える。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
関委員	感染拡大を抑止するため、施設等で幅広い検査を実施していくべきと考えるがどうか。
参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長	高齢者福祉施設等の検査の実施については山形市と協議を行っているところである。
関委員	新型コロナのPCR検査体制をさらに充実すべきと考えるがどうか。
参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長	<p>診療・検査医療機関の増加により、既に県内でPCR検査が十分できる状況になっていると考えている。県衛生研究所は、クラスター時の検査や変異株等の流行状況などの検査に特化している。</p> <p>なお、診療・検査医療機関での検査については、全て県外での判定となり、福島県等の民間事業者が実施している。</p>
関委員	新型コロナウイルスの変異株の検査体制についてはどうか。
参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長	E484Kについては、衛生研究所においてスクリーニングのための検査を継続していくこととしているが、全数検査を行うには負担が大きく、感染の状況や流入経路等を見定めるため実施していく。
田澤委員	新型コロナの感染対策については、県単位で決めていくが、仙台と山形の経済圏が同一であることから、宮城県と山形県でどのように連携しているのか。
健康福祉部長	全ての活動を遮断できるわけではないが、これからゴールデンウィーク等でまた人の移動が増える時期になるため、隣県と連携を取りながら対策を講じていきたい。
田澤委員	変異株等が発生した場合、山形県と宮城県の衛生研究所間の情報共有はどうなっているのか。
医療統括監	他県との連携については、地方衛生研究所連絡協議会を通じて行っている。今回の変異株E484Kについても宮城県からの情報提供である。
田澤委員	新型コロナのクラスターが発生した場合等は多数の人員が必要となると考えられるが、保健所の人員体制はどうか。
参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長	新型コロナに関して、昨年度当初はウイルス対策についてわからないことが多かったため、全て保健師が対応していたが、現在では蓄積されたノウハウに基づき業務分担を行っており、一定の知識を持つ獣医師や薬剤師が対応している業務もある。
田澤委員	新型コロナのワクチン接種の進捗状況はどうか。
参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長	国から医療従事者についての接種順番は既に示されている。

発 言 者	発 言 要 旨
<p>田澤委員</p> <p>参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長</p>	<p>新型コロナのクラスターが発生した場合、県はどのような対応を行うのか。</p> <p>患者の入院等の調整については、県庁内に設置されている新型コロナ感染症患者受入調整本部にて県立中央病院の医師等と検討を行っている。</p> <p>また、施設の経営者、保健所、市町村、関係団体が参加したWeb会議にて対策を協議し、現地での指導が必要だということであれば、専門家が現地に行き現場で対応しながら、更なるクラスターの拡大防止に努めている。</p>
<p>今野副委員長</p> <p>参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長</p>	<p>新型コロナの陽性者の家族を支援する制度はあるのか。</p> <p>例えば、主に家事を行う方が入院した場合、残った家族への家事支援については、保健所で相談を行っている。</p> <p>また、親が感染した場合、濃厚接触者である子どもの面倒はどうするかなど、新型コロナの患者が発生した当初からの課題についても、その対応について健康福祉部内や市町村も交えた場で協議している。</p>
<p>今野副委員長</p> <p>参事（兼）新型コロナワクチン接種総合企画課長</p>	<p>山形市において新型コロナの感染が拡大しているが、県と山形市との連携状況はどうか。</p> <p>県新型コロナ感染症患者受入調整本部において、山形市保健所長は地域コーディネーターの役割を担っており、地域での発生状況について県と連日Web会議を行っている。また、県は市とともに検査体制や夜の街対策等を検討している。</p>